2023年6月7日

神戸市建設局長

小 松　恵 一 様

神戸市従業員労働組合下水道支部

支部長　北　哲也

# 2023年度現業・公企統一闘争要求書

貴局におかれましては、安全・安心なまちづくりに日々、尽力されていることに心から敬意を表します。また、私たちの労働条件や労働環境についても深いご理解を示されていることに感謝を申し上げます。

未曾有の被害をもたらしたコロナが、3年越しでようやく2類から5類に下がりましたが、拡大が止まった訳ではなく、引き続きの対応が必要となります。下水道事業は、住民生活を維持するための重要なライフラインです。コロナだけでなく、職員削減の煽りも受け、組織が疲弊し、施設は老朽化しており適正な維持管理が出来なくなるとともに、住民生活へ影響が出るレベルまで進んでいます。

昨年も申し上げたが、政府は水害のみならず、大規模地震の発生リスク、さらにインフラの老朽化を踏まえ「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」を進めています。下水道においても浸水、地震、老朽化が対策の柱と位置付けられています。施設の老朽化は神戸市においても喫緊の課題です。突発的な水害に対し内水排除をするためにも改築更新し機能保全することは必要です。雨天時浸入水対策計画の策定の件にしても、神戸市の案をより良い形にして行くための、現場の声をくみ上げる努力をしていただけなかったことを残念に思います。私たちは、下水道職場で働き、蓄積した知識を組織の力として継続して活用できる体制を望んでおり、将来にわたり下水道を円滑に管理し、止まることなく継続することが必要だと考えています。

労働組合も時代に即応した取り組みが求められており、現場の率直な声を聞き、当局との窓口になり労働組合の本来の活動である、勤務労働条件については法令遵守・法の精神に基づき、労使自主決着を基本に取り組んで行きたいと考えています。

神戸の下水は少数精鋭の名のもと、少人数の体制で努力してきましたが、合理化や委託でさらに職員数が減っているのが現状で、人が減った分、技術・能力でカバーしなければなりません。今年度も1名の新規採用があり、現場は活気づいています。今後も継続的な採用を行い、技術の継承が出来る環境を作り、将来にわたって、円滑に、安全で安定した水処理を行い、市民の安全、安心のまちづくりを推進するため、そこで働く労働者の労働条件改善に向けて、下記項目について善処されますよう要求いたします。

記

1．　公共サービスの充実を図るため、現業労働を直営で行うこと
2．　労働条件に関わる全ての問題について事前協議を遵守すること
3．　労働安全衛生活動を充実させること
4．　処理場における運転管理体制の確立のため、欠員の補充については速やかに正規職員で完全補充すること
5．　労務職員のさらなる処遇改善を図ること
6．　高齢者雇用対策については情報共有を図り、職員への混乱が生じないよう職員への周知に努めること
7．　上記の要求を速やかに実現するとともに誠意を持って文章回答すること

以上